

害獣や害虫にご注意ください

野生動物

市では、ハクビシンやアライグマといった野生動物の目撃情報が寄せられています。中でもハクビシンの目撃情報は多く、糞便などの被害も報告されています。また、アライグマは凶暴な性格で、特定外来生物に指定されています。

ハクビシン

【大きさ(成獣)】

体重 約3~4kg、全長90~110cm
(尾長:約40~45cm)

【特徴】

体の大部分が灰褐色。四肢は黒色。額から鼻先まで白い模様がある。



アライグマ

【大きさ(成獣)】

体重 約4~10kg、全長60~100cm
(尾長:約20~40cm)

【特徴】

体の大部分が灰褐色。目の周りが黒い。尾に輪模様がある。



野生動物を見かけても近づかない

野生動物に安易に近づくと、かまれたり爪で傷つけられ、けがをするおそれがあります。また、狂犬病やダニなど、人に感染する病気を持っている場合もあるため、近づかないようにしましょう。

餌を与えない

家庭ごみを捨てる際は、餌になる生ごみなどは密封し、空き缶はすすいでから捨てましょう。また、庭木の果実は収穫し、ペットフードの残飯はすぐに処分しましょう。餌になるものを屋外に放置しないようご協力ください。

侵入・住まいを与えない

屋根裏などへの侵入口になるような穴は金網などで塞ぎ、屋根に登れるような庭木の枝はせん定しましょう。また、家の物置や倉庫などを頻繁に見回りし、住みつかれないようにしましょう。

野生動物にお困りの方は

市では、野生動物による被害拡大防止と個体数の抑制を目的に捕獲による駆除を実施しています。庭木の果実が荒らされるなどの被害でお困りの方は、環境衛生課へご相談ください。

また、野生動物を目撃した場合も、ご連絡ください。

害虫

市内でも見かける害虫です。駆除する場合は、安全に注意して行ってください。危険な場合は無理をせず、市や専門の業者に相談してください。

セアカゴケグモ

【大きさ】

全長約10~30mm

【特徴】

全体的に黒く、腹部背面によく目立つ赤色の模様がある。



セアカゴケグモの特徴と危険性

神経毒を持っており、かまれた直後は軽い痛みを感じる程度ですが、しだいに痛みが増加し、腹痛などが起こることがあります。重症化すると、おう吐、発熱などの全身症状が現れることがあるので、医療機関での治療が必要です。

セアカゴケグモを発見した場合は、靴で踏みつぶすか、殺虫剤で駆除してください。また、その際は、発見場所の施設管理者および環境衛生課にご連絡ください。

スズメバチ

【大きさ】

全長約20~40mm

【特徴】

胴体はオレンジ色。足は黒いタイプが多い。攻撃性がとても高い。



スズメバチの巣の駆除費用を負担します

スズメバチは、巣に近づくと威嚇行動をとり、刺されると生命に危険が及ぶ可能性が高いため、市が巣の駆除費用を負担します。巣を見つけた際は、市へご相談ください。なお、スズメバチ以外のハチの巣の駆除費用は市で負担しませんので、その土地・建物の所有者や管理者で対応をお願いします。

問 環境衛生課 ☎712・6495

ID 1032561

新型コロナウイルス感染症に係る対策事業の実績

感染防止対策と社会経済活動の両立のために、令和3年3月末までに取り組んだ新型コロナウイルス感染症に係る各種事業の成果や進捗結果をお知らせします。詳しい内容は、市ホームページをご覧ください。

項目	主な事業名	事業数
生活の支援	市税・国民健康保険税の徴収猶予、児童手当の独自加算など	12
相談体制の充実	新型コロナウイルスワクチンコールセンター、経営・生活支援緊急相談窓口の設置など	4
中小企業等への支援	中小企業資金融資事業、飲食店臨時支援給付金など	5
感染症拡大予防に係る対策	保育料の返還、感染症対策用品の関係機関への配布など	26
地域経済活性化・市民生活支援対策	地域応援チケットの配布、特別定額給付金事業	2
医療関係機関への支援	PCR検査センターの設置、救急医療体制維持確保臨時補助金など	9
感染症対策のための財源確保	特別職給与の減額、議員報酬等の減額	2
その他	新型コロナウイルスに感染した遺体の火葬、市川保健所への応援職員の出遣など	3

問 危機管理課 ☎712・6899

ID 1032822